

現状と課題

- 現在の我が国では、如何に地域のコミュニティを再生し、地域の活性化を確保していくのかが、大きな課題。
- 我が国の文化施設の多くは、多目的利用・貸館公演が中心で、劇場・音楽堂等としての機能の発揮が不十分。
- 実演芸術団体の活動拠点が大都市に集中、相対的に地方で多彩な実演芸術に触れる機会が少ない。
- 社会的包摂に対応する支援の在り方が課題。



- 平成24年6月、「劇場・音楽堂等の活性化に関する法律」が公布・施行。
- 同法において、劇場・音楽堂等は、文化芸術の継承・創造・発信の場、人々が共に生きる絆を形成する地域の文化拠点として規定。
- また、劇場・音楽堂等の事業等に対する支援を行うなど、国が取り組むべき事項を明確にし、環境整備等を進めることが規定。
- さらに、地域社会の絆の維持及び強化を図るとともに、共生社会の実現に資するための事業を行うことが規定。

我が国の文化拠点である劇場・音楽堂等が行う、音楽、舞踊、演劇等の実演芸術の創造発信や専門的人材の養成、普及啓発事業、劇場・音楽堂等間のネットワーク形成等に対し、総合的に支援。

特別支援事業

(支援件数：15件／応募件数：17件)

我が国の実演芸術の水準を向上させる牽引力のあるトップレベルの劇場・音楽堂等が行う、国際水準の実演芸術の創造発信(公演事業)や、専門的人材の養成事業、普及啓発事業を総合的に支援。

- ◆ [支援内容]: 事業実施に必要な経費の二分の一を上限に支援。

活動別支援事業

(支援件数：190件／応募件数：225件)

地域の実演芸術の振興を牽引する劇場・音楽堂等が主体となり、地域住民や団体等とともに行う実演芸術の創造発信(公演事業)や人材養成事業、普及啓発事業を活動単位で支援。

- ◆ [支援件数]: 公演事業 67件
人材養成事業 51件
普及啓発事業 72件
- ◆ [支援内容]: 事業実施に必要な経費の二分の一を上限に支援。



共同制作支援事業

(支援件数：4件／応募件数：6件)

実演芸術の創造発信力を高めることを目的として、複数の劇場・音楽堂等が複数又は単一の実演芸術団体等と共同して行う実演芸術の新たな創造活動(新作、新演出、等)を支援。

- ◆ [支援内容]: 事業実施に必要な経費の二分の一を上限に支援。

劇場・音楽堂等間

ネットワーク構築支援事業

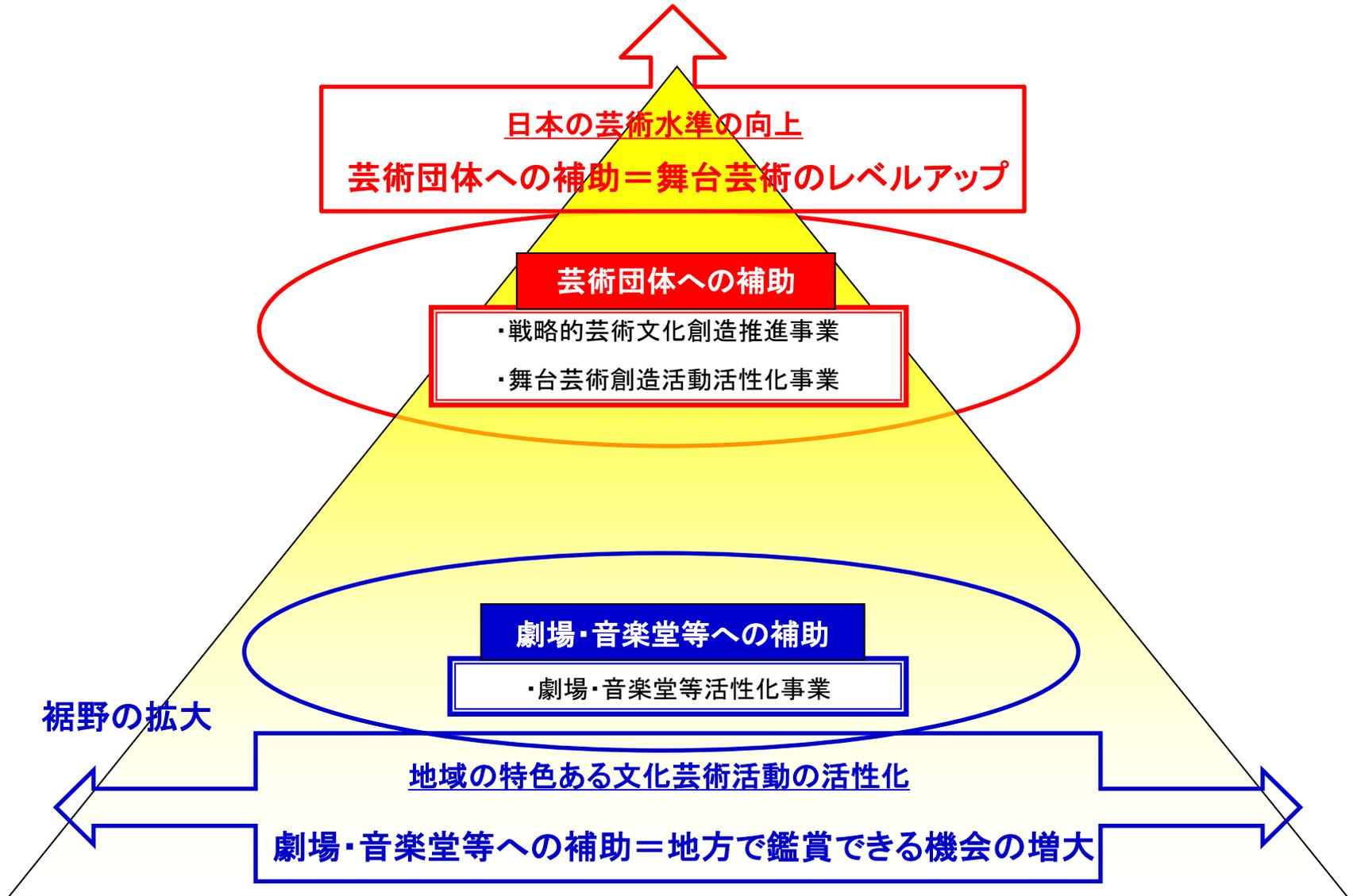
(支援件数：55件／応募件数：83件)

劇場・音楽堂等相互の連携・協力を促進し、国民がその居住する地域に関わらず等しく実演芸術を鑑賞できるよう、実演芸術団体が企画制作する巡回公演に対し支援。

- ◆ [支援内容]: 巡回公演実施に必要な経費のうち、旅費及び運搬費を支援。

- 我が国の実演芸術の水準向上
- 全国的な劇場・音楽堂の活性化
- 地域コミュニティの創造と再生

※支援件数については、平成27年度実績による。



地域における劇場・音楽堂等の取組事例

兵庫県立芸術文化センター（兵庫県西宮市）

- ✓ 西宮北口駅再開発の中核施設として開館。
- ✓ 世界的な指揮者である佐渡裕芸術監督のもと多彩な公演を実施。
- ✓ **公演入場者数は年間約50万人**。周辺の商業施設と一体となり地域に賑わいをもたらす。
- ✓ 開館以降、西宮北口駅の1日当たり乗降客数は、**2万4千人増加**。（平成26年度）
- ✓ 関西の「住みたい街ランキング」では**西宮北口駅が1位**。
- ✓ **経済波及効果：149.1億円 雇用効果（兵庫県内）：509人**（平成26年度）



可児市文化創造センター（岐阜県可児市）

- ✓ **人口10万人の可児市において年間約48万人が来館**。地域のにぎわい創出に貢献。
- ✓ **文化芸術を活用して、子育て支援、高齢者の生きがいづくり、多文化共生などの地域課題に取り組む「まち元気プロジェクト」**を展開。公民館や福祉施設で実施する年間400回以上のワークショップには延べ7千人以上の市民が参加し、コミュニティの形成に寄与。
- ✓ **県立高校において自己表現力とコミュニケーション能力の養成を目的に演劇手法を活用したワークショップを実施**。中途退学者が約3分の1となり、新入生の定員割れも解消。
- ✓ **経済波及効果：12.2億円**（平成25年度）

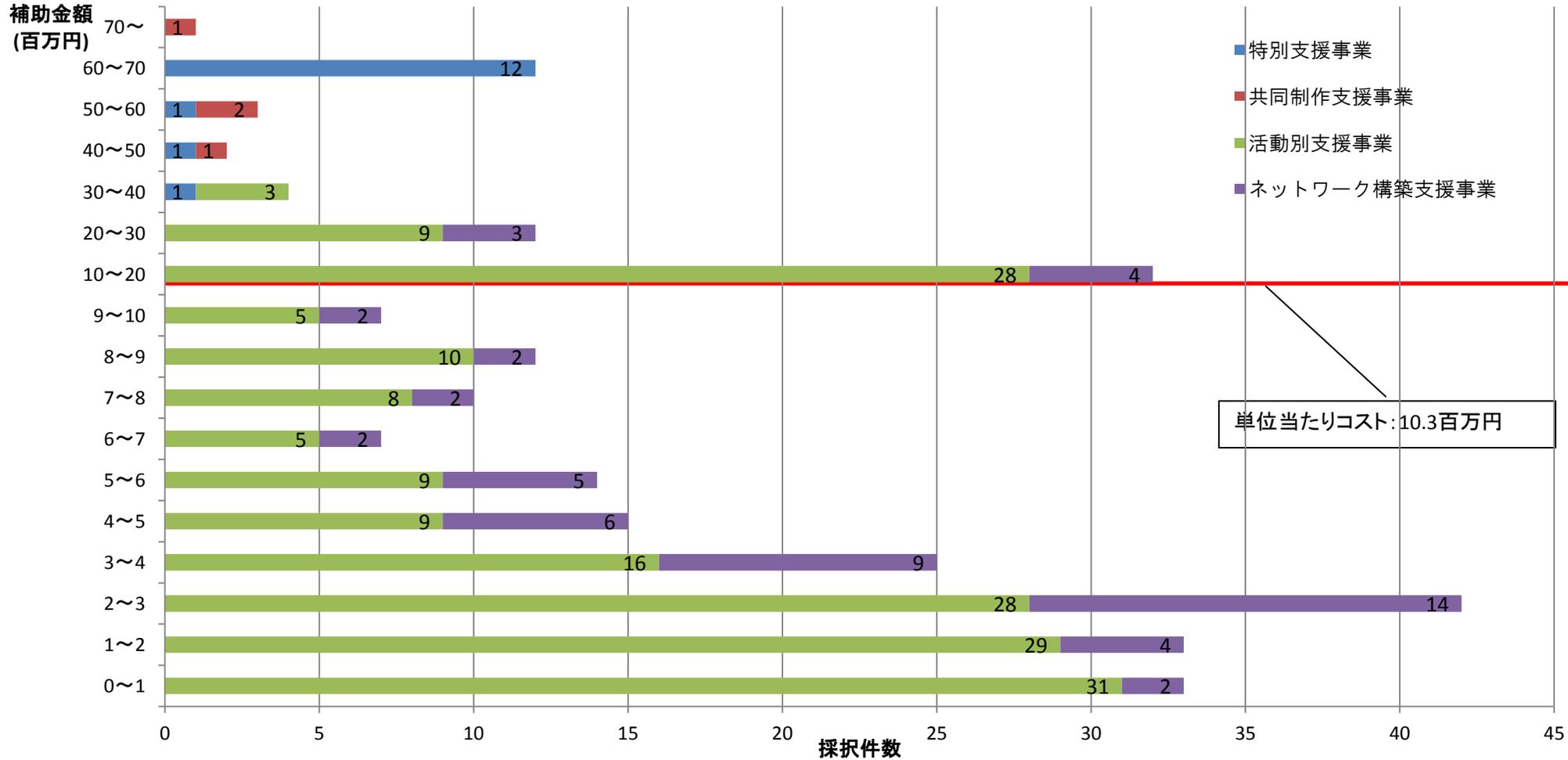


しいの実シアター（島根県松江市）

- ✓ **人口約7千人の旧八雲村の中でも、過疎の進行する中山間地域に開館**。
- ✓ 公立としては国内最小規模（座席数108席）の劇場。
- ✓ 半径3km以内に店舗がなく、宿泊施設も6km離れているという環境でありながら、**3年に1度、海外から劇団を招へいして「八雲国際演劇祭」を開催**。地元の小中学生を含め約400人のボランティアスタッフが運営を支える。前回（2014年）開催時には5日間で延べ約1万5千人が来場。うち22.3%は県外からの参加者。



補助金額別採択事業件数の分布 (平成27年度実績額)



単位当たりコスト: 10.3百万円

	採択件数	補助の割合	上限額
特別支援事業	15件	補助対象経費の2分の1以内、かつ事業費から入場料収入とその他収入を除いた額の範囲内	7,000万円
共同制作支援事業	4件	補助対象経費の2分の1以内、かつ事業費から入場料収入とその他収入を除いた額の範囲内	-
活動別支援事業	190件	補助対象経費の2分の1以内、かつ事業費から入場料収入とその他収入を除いた額の範囲内	5,000万円
ネットワーク構築支援事業	55件	旅費・運搬費の全額	-
計	264件		

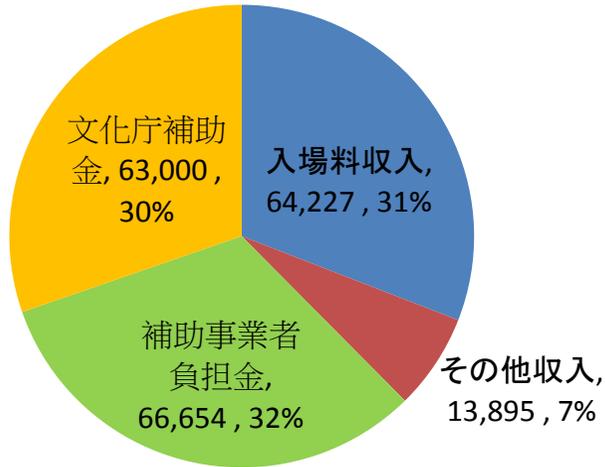
採択事業の事業費に対する収入の内訳(平成27年度実績額)

(単位:千円)

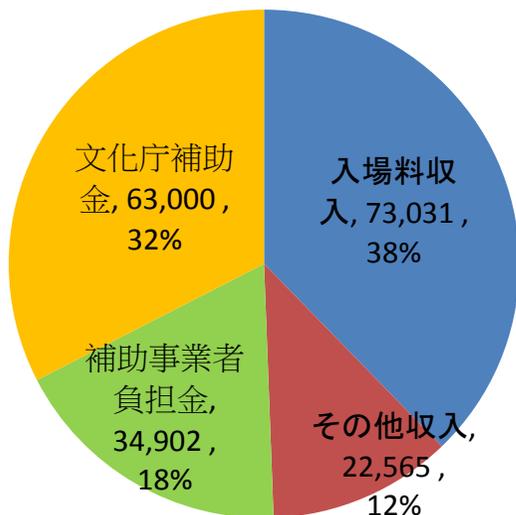
■特別支援事業採択館の例

(公演・人材育成・普及啓発事業費総額)

【申請時:207,776千円】



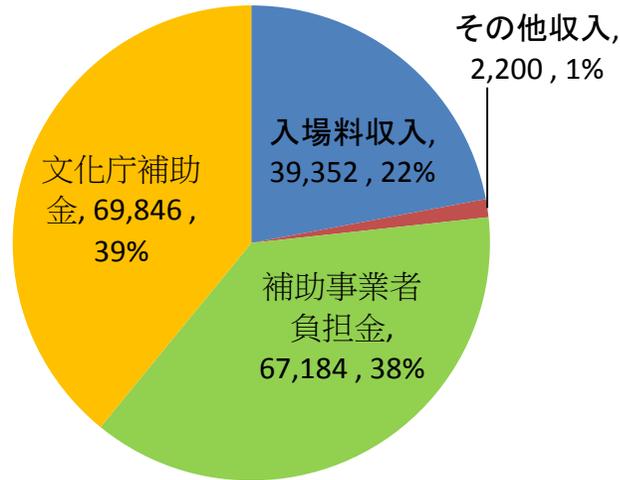
【実績時:193,498千円】



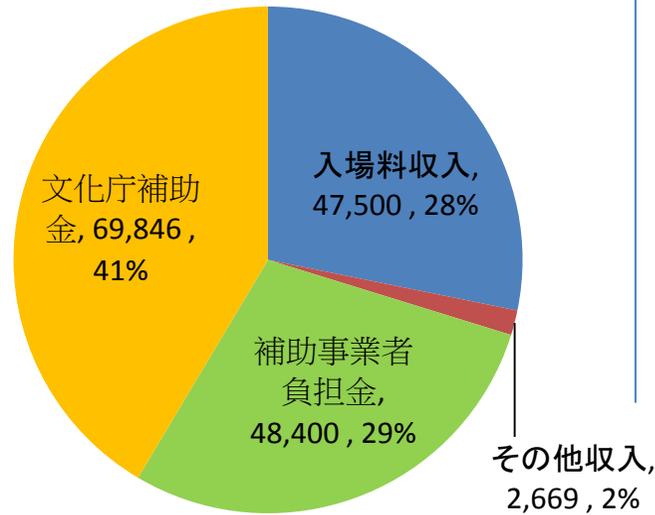
■共同制作支援事業の例

(5館共同事業)

【申請時:178,582千円】



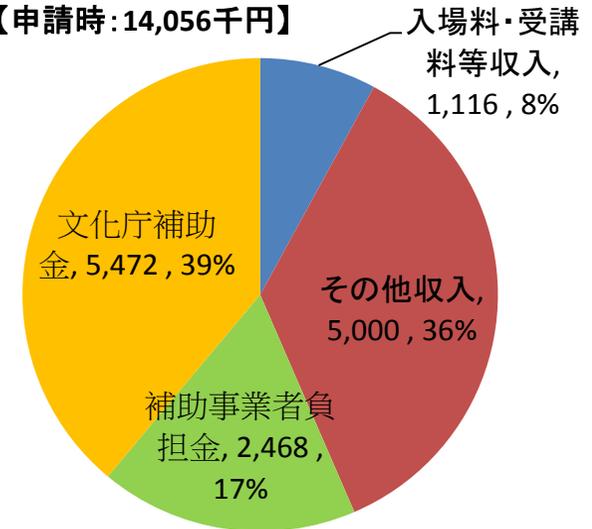
【実績時:168,415千円】



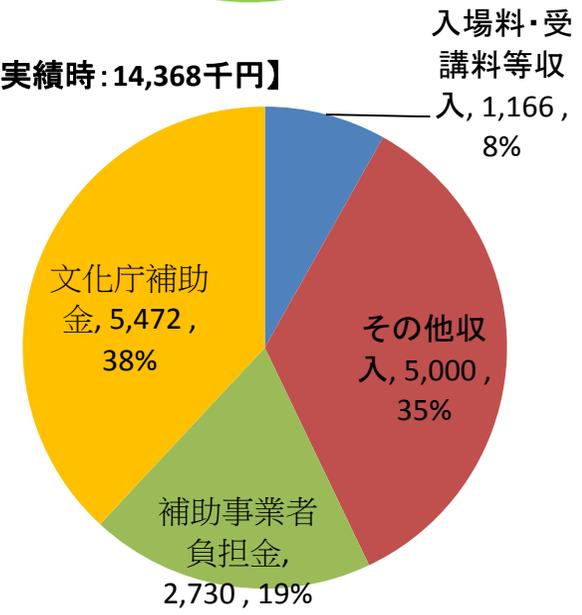
■活動別支援事業採択館の例

(人材養成事業費)

【申請時:14,056千円】



【実績時:14,368千円】



交付要綱と応募要領の概要

事業区分	補助対象事業者	補助の割合	上限額	補助対象経費	審査の視点
特別支援事業	①劇場・音楽堂等を設置する 地方公共団体又は法人 ②劇場・音楽堂等を運営する 地方公共団体又は法人		7,000万円	<ul style="list-style-type: none"> ・出演費 ・音楽費 (作曲料、編曲料等) ・文芸費 (演出料、脚本料等) ・舞台費 ・運搬費 ・会場費 ・旅費 ・謝金 ・宣伝費 	<ul style="list-style-type: none"> ①劇場・音楽堂等の組織・体制 (優れた芸術監督の配置等) ②現在の取組状況(実績) (我が国の実演芸術の振興への貢献等) ③応募事業の企画内容 (創造性、企画性等の観点から優れた質が確保された企画となっているか等)
共同制作支援事業	①劇場・音楽堂等を設置する 地方公共団体又は法人 ②劇場・音楽堂等を運営する 地方公共団体又は法人 ③実演芸術団体	補助対象経費 の2分の1以内、 かつ事業費から 入場料収入とそ の他収入を除い た額の範囲内	—		<ul style="list-style-type: none"> ①公演計画について (新演出、新振付等、意欲的な内容の公演であるか等) ②劇場・音楽堂等、実演芸術団体について (共同制作の役割分担の明確性、スタッフ・キャスト等の専門性等)
活動別支援事業	①劇場・音楽堂等を設置する 地方公共団体又は法人 ②劇場・音楽堂等を運営する 地方公共団体又は法人 ③実行委員会		5,000万円		<ul style="list-style-type: none"> ①劇場・音楽堂等の組織・体制 (専門的人材の確保の状況等) ②現在の取組状況(実績) (地域の実演芸術の振興への貢献等) ③応募事業の企画内容 (地域の実状を踏まえた企画であるか等)
ネットワーク 構築支援事業	①劇場・音楽堂等を設置する 地方公共団体又は法人 ②劇場・音楽堂等を運営する 地方公共団体又は法人 ③実演芸術団体	補助対象経費 の合計額の範 囲内	—	<ul style="list-style-type: none"> ・運搬費 ・旅費 	<ul style="list-style-type: none"> ①巡回公演の実施計画について (地域にかかわらず等しく実演芸術を鑑賞する機会を提供できるか等) ②劇場・音楽堂等、実演芸術団体について (巡回公演を実施しうる団体であるか等)

平成27年度「劇場・音楽堂等活性化事業」業務委託 受託業者の業務内容及び業務量

